



工場概要

- 1934年(昭和 9年) 鶴見曹達株式会社設立 電解ソーダ事業開始
- 1963年(昭和38年) 日本で初めて液化塩化水素の製造販売を開始
- 1982年(昭和57年) イオン交換膜法食塩電解槽導入(隔膜法⇒イオン交換膜法)
- 1983年(昭和58年) 高純度液化塩化水素製造販売開始
- 1990年(平成 2年) 高純度塩酸製造販売開始
- 2013年(平成25年) 東亜合成株式会社と合併し横浜工場となる

工場敷地

約 95,000 m²

建物延床面積

約 19,000 m²

従業員数 (2024年6月現在)

110名 (男性95名 女性15名)

※派遣社員・出向者も含む



空から見た横浜工場

周辺地図



所在地：神奈川県横浜市鶴見区末広町一丁目7番地

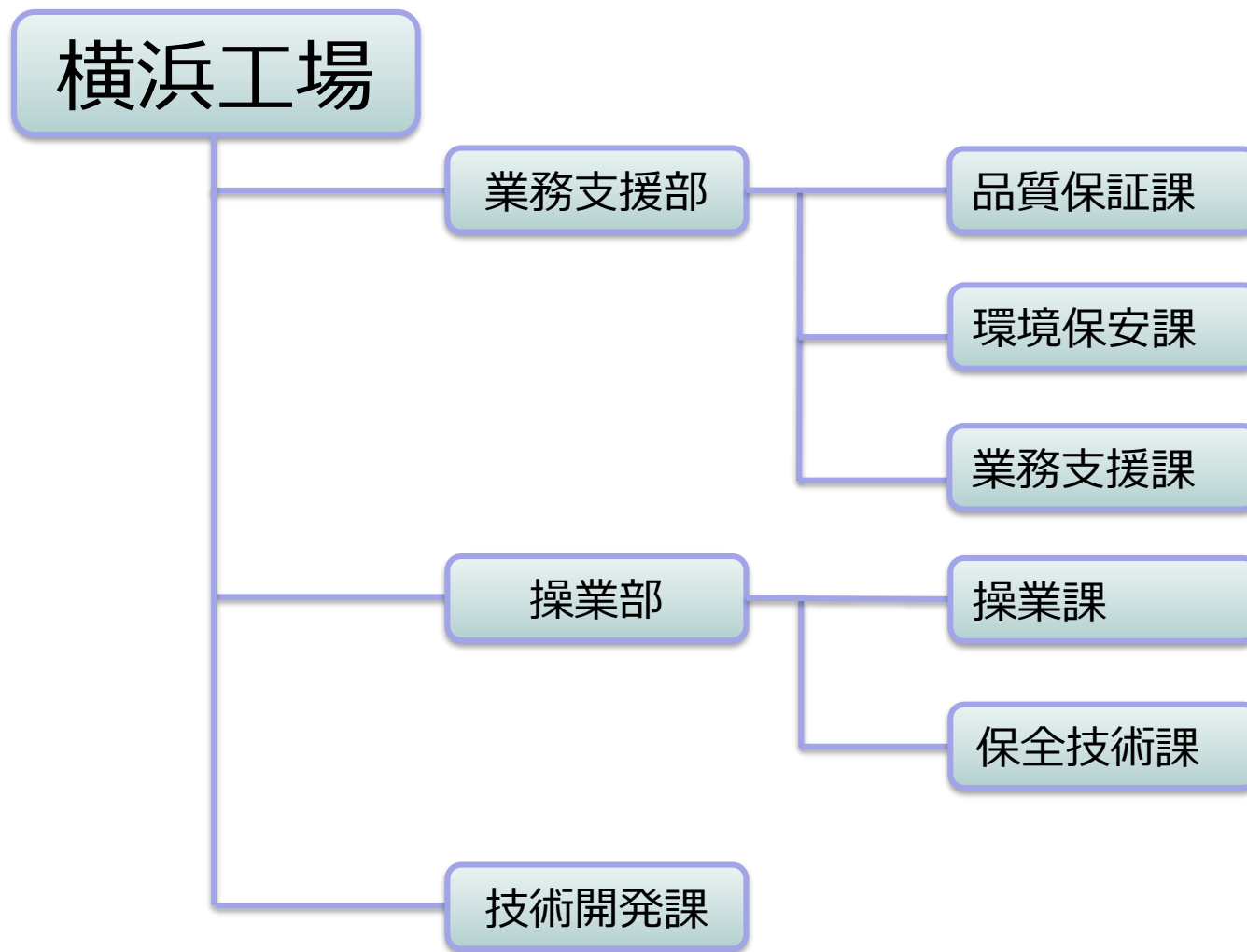
交通：JR京浜東北線「鶴見駅」東口から、臨港バス「鶴08ふれーゆ」行きにて
「東亜合成横浜工場前」バス停下車すぐ

末広町地区

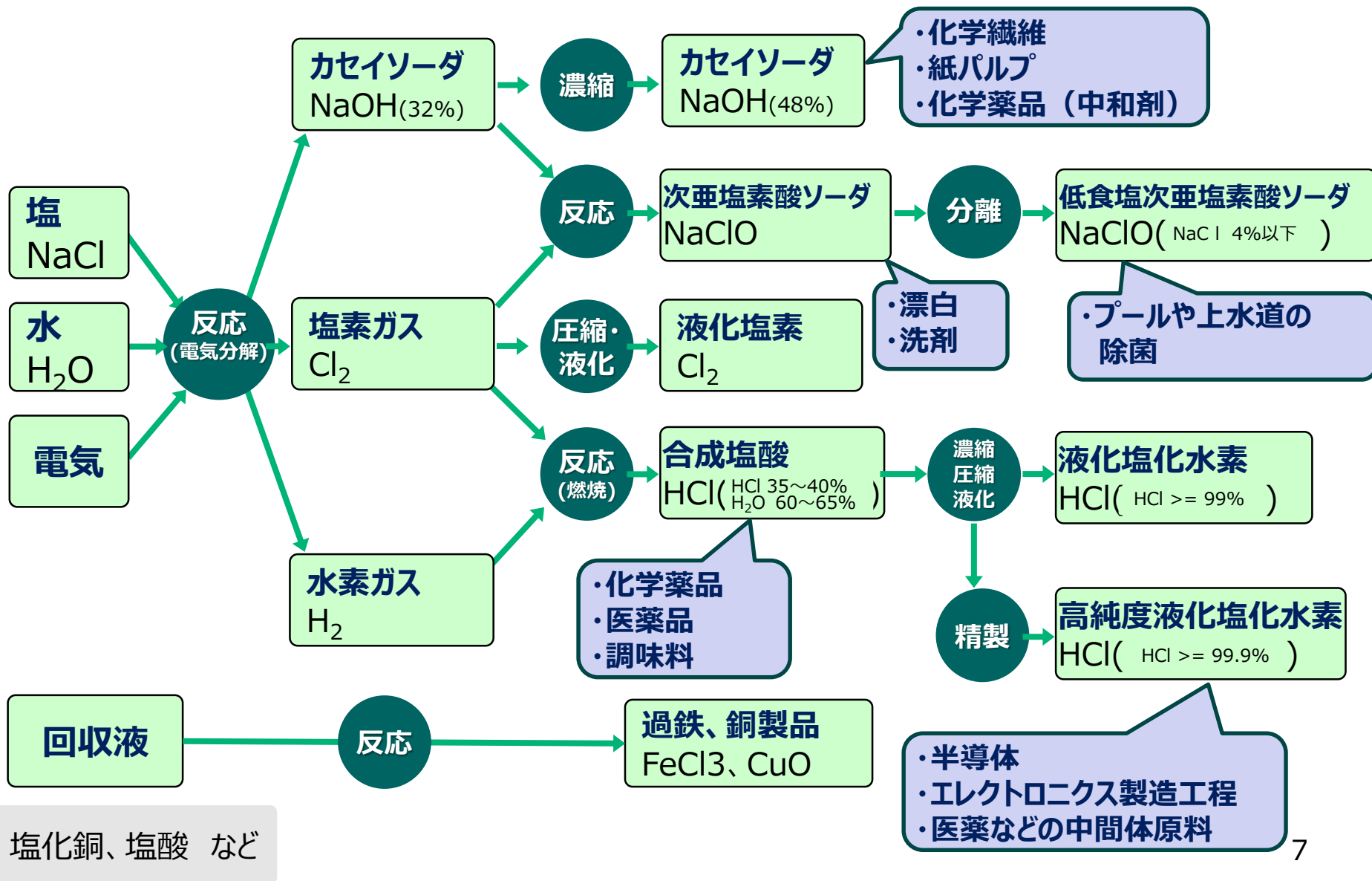


京浜臨海部の東部に位置し、重電機器や鉄鋼・ガラス・化学材料をはじめとした大規模な製造業、理化学研究所をはじめとするライフサイエンスや新エネルギー等の研究機関、先端技術開発を行うベンチャー企業、資源リサイクル施設等が立地する産業エリアです。

出典：
平成30年9月横浜市
京浜臨海部再編整備
マスタープラン
「ツインフロンティア末広
（仮称）」



事業名	製品名	用途
無機製品	カセイソーダ	無機薬品、紙・パルプ、化学繊維など
	液化塩素	無機塩素化合物、紙・パルプの漂白など
	合成塩酸	鉄鋼、水処理、紙・パルプ、化学工業 非鉄金属、石油精製、医薬など
	合成純塩酸	
	次亜塩素酸ソーダ	上下水道、食品、化学工業など
	塩化第二鉄液	写真製版、エッチング剤、排水処理など
	易溶性酸化銅	銅めっきなど
高純度 無機製品	高純度塩酸	半導体、医薬品など
	高純度液化塩化水素	



国内有数のメーカーとして、アジア地区でもトップシェアを誇る製品です。
特に高純度品は半導体製造において欠かすことができないグレードを製造しています。

- 用途： 半導体用 S i ウェーハのエピタキシャル形成
半導体製造工程・液晶パネルのドライエッチング
医薬・農薬の中間体
- 特長： 一貫製造体制…原料から容器整備・耐圧検査を自社で実施
安定供給体制…2拠点での生産体制構築（横浜・徳島）
世界最高品質…純度 99.999%以上 ※高純度品の場合
- 荷姿： 重量 5kg～620kg



25kgシリンダー



500kgシリンダー



ISOチューブコンテナ

横浜工場では、東亜合成グループのサステナビリティ方針に基づき、地域に信頼される工場をめざして様々な活動を展開しています。

【サステナビリティ方針】

未来の子供たちに幸せが届くよう、新しい価値創造に挑戦します

当社グループはこれまでも環境に優しい製品を提供してきました。
これからも持続可能な豊かな社会に役立つ製品の開発、提供に一層の力を注いでいきます。

* 社会貢献活動

鶴見クリーンキャンペーン（工場周辺清掃）、鶴見川クリーンキャンペーンへの参加、
鶴見川サマーフェスティバルへの協賛、末広地区みどりのまちづくり協議会への参画、
かながわ森の町内会（間伐材サポーター）、献血実施等



